

令和7年度

幼保小連携推進地区事業 活動報告

推進テーマ

子どもの育ちや学びの連続性を生かす連携の在り方
～安心して取り組み、自己発揮できる子をめざして～

屏風浦地区

屏風ゆめの森保育園

屏風ヶ浦はるかぜ保育園

屏風浦小学校

キッズパートナー磯子中原

森幼児園

推進テーマ設定の理由

- ・ 幼保小の接続はこれまでも重視して進めてきている。小学校側と幼稚園・保育園側の接続の意識が共有されることは、子どもたちが安心して過ごすことにつながる。
- ・ 子どもが安心して取り組み、自分らしさを発揮できる主体的な取組は、接続期だけではなくどの学年・年代にも通じるものであり、全校をあげて推進する。

推進内容と年間計画

- ・職員がお互いの活動を知る、理解する。
- ・子どもの育ちや学びのつながりを生かした活動を取り入れる。
- ・他と関わりながら、子どもの主体性を育む。

時 期	主な活動等
4 月	スタートカリキュラムの実施 園の職員の参観の呼びかけ
5 月	学校運営協議会での共有 推進委員会での共有
7 月	合同研修会の実施
11月以降	園児と1年生の交流
12月	球根を育てる
1 月	学校づくりワーキングでの共有
2 月	年間の振り返りと次年度計画作成

今年度の重点課題 ～今年度力を入れたこと～

- ・ スタートカリキュラムの実施
(園の職員の参観)
- ・ 職員の合同研修会の実施
- ・ 学校運営協議会や学校づくりワーキング
での共有
- ・ 園との交流、花の球根を共に育てる



スタートカリキュラムの実施（園の職員の参観）

これまでに実施してきたスタートカリキュラムを実施、充実させると共に、園の職員に参観してもらい、子どもたちの様子について懇談する。

スタートカリキュラムの実施（園の職員の参観）

これまでに実施してきたスタートカリキュラムを実施、充実させると共に、園の職員に参観してもらい、子どもたちの様子について懇談する。

- ・とても楽しそうでリラックスして学校で過ごしていることが分かりました。楽しい活動をしながらか学校に慣れて学べるのだと感じました。また、掲示等から子どもの声を拾いながら学校探検を進めていることも分かり、先生方の上手なご指導で学びを深められていることも分かりました。

- ・室内でも外でも子どもたちが大切にされている様子、安心して生活している様子がわかり、ほっとしました。どのクラスの中にも生き生き過ごしている気配があり、活気を感じました。スムーズに勉強につながるのだらうと予想できます。

- ・子どもたちがもっと小学校へ入学した際に安心して生活していけるように保育園で出来る取組を増やしていきたいです。そして、ぜひ保育園の姿を見に来ていただけたら幸いです。

職員の合同研修会の実施

スタートカリキュラムの様子をVTR視聴したり取組の体験をしたりすることを通して意見交換し、観の共有を図る。



・スタートカリキュラムの中での様々な遊びを通して、ルールや子ども同士の関わりだけでなく、数字や文字、言葉などの学びにも自然とつながっていくことを感じました。

・スタートカリキュラムの映像を見て、みんなで楽しく盛り上がる事ができるような、明るく親しみやすい子どもたちを育てたいと感じました。

・スタートカリキュラムの取組は、どの学年でも使えらると思った。保育園での活動や先生方の思いを知ることができた。



学校運営協議会や 学校づくりワーキング での共有

学校運営協議会委員に園長が加わる。学校づくりワーキングを通して、取組内容の共有を図る。

めざす子どもの姿などについて、地域の方や教職員と語る（年2回実施）

園との交流、花の球根を共に育てる

園児と1年生の交流を複数回行う。

1年生と園児が同じ活動（花の球根を育てる）を行う。

「秋とともだち」 見つけた秋からさまざまなものをつくり園児を招待



「どんぐりごま」だよ。両手でやると、まわしやすいよ。



「まとあて」だよ。ここに当たると100点だよ。



「かざりやさん」だよ。耳や首にかざってみてね。

・園との交流、花の球根を共に育てる

園児と1年生の交流を複数回行う。

1年生と園児が同じ活動（花の球根を育てる）を行う。

「花の球根を植えよう」 同じ球根を育ててみよう



楽しみだね。

わたしたちと一緒に球根を育ててください。



水やりをしながら、年長さんの球根は育っているかな、と話題になっています。きれいな花が咲くのを楽しみに育てています。



年長さんだけでなく、こどもたちみんなの注目を集めています。卒園の頃、園庭が賑わうかなと、毎日成長を楽しんでお世話しています。

園との交流

園児と１年生の交流を複数回行う。

「年長さんと仲良しの会」 なかよしゲームをしよう



なかよしゲームを
はじめます

ぼくのなまえは…
すきなものは…

つぎに来たときは、がっこうたんけん
をします。どこにいきたいかな？



相手意識や自分の思いをお
もって考えて活動する姿が見ら
れました。また、進んで人と関
わり仲間づくりをする姿も見ら
れました。

成果と課題

【成果】

- ▶ スタートカリキュラムの様子を園の職員が観ることで小学校の活動を知ってもらったりそのためにどんな接続をすべきかを考えたりする機会となった。
- ▶ 合同研修会を行うことで、園との活動のつながりを理解したり取り入れられそうな活動を見通したりすることができた。また、2年生以上にも生かしていける視点をもつことができた。
- ▶ 学校運営協議会等の共有を通して、地域ぐるみでどんな子どもを育てていくか、そのためにどんな活動を充実させていくかを見通すことができた。
- ▶ 園児を招待するという目的をもつことで、何をどのように伝えるのか、相手の立場になって考え、表現するようになった。
- ▶ 小学生との遊びを通した交流は子どもたちにとって楽しい経験となり、球根の世話をしたり、小学生へ手紙を書こうとしたりするなど、この経験が園での遊びや生活に広がりをみせている。

【課題】

- ▶ 園との交流がインフルエンザ等の感染症の影響で予定通り進めることができず、当初の回数より交流が少なかった。
- ▶ 今年度は、1年生と園との交流が行われたが、次年度以降は交流の学年を広げたり交流の方法を工夫したりすることでさらなる充実を目指す。
- ▶ スタートカリキュラムの考え方を2年生以上にも生かす取組について、取り組んだ成果が実感できるようにしていく。